

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6232082号

(P6232082)

(45) 発行日 平成29年11月15日(2017.11.15)

(24) 登録日 平成29年10月27日(2017.10.27)

(51) Int.Cl.

F I

A 4 1 C 3/12 (2006.01)

A 4 1 C 3/12 C

A 4 1 C 3/00 (2006.01)

A 4 1 C 3/12 Z

A 4 1 C 3/00 A

請求項の数 6 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2016-4941 (P2016-4941)  
 (22) 出願日 平成28年1月14日(2016.1.14)  
 (65) 公開番号 特開2017-125275 (P2017-125275A)  
 (43) 公開日 平成29年7月20日(2017.7.20)  
 審査請求日 平成28年11月28日(2016.11.28)

(73) 特許権者 712011426  
 株式会社 あつみファッション  
 富山県氷見市大浦17番地1  
 (74) 代理人 100112874  
 弁理士 渡邊 薫  
 (72) 発明者 坂本 和枝  
 富山県氷見市大浦17番地1 株式会社あ  
 つみファッション内  
 (72) 発明者 大西 美智代  
 富山県氷見市大浦17番地1 株式会社あ  
 つみファッション内  
 (72) 発明者 日名田 美幸  
 富山県氷見市大浦17番地1 株式会社あ  
 つみファッション内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 カップ付き衣類

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

左右一対のカップ部と、  
 前記カップ部の下部に取り付けられた土台部と、  
 前記カップ部の肌接触面側に、前記カップ部を左右方向に跨いで配置されたパネル部と、  
 を備え、  
 前記土台部の前中央部の下縁部は、前方向に張り出した湾曲部を形成している、カップ  
 付き衣類。

【請求項2】

前記土台部を平面に置いた状態で、前記湾曲部は、前記土台部に対して1.0cm以上 10  
 張り出している、請求項1に記載のカップ付き衣類。

【請求項3】

前記パネル部は、前記カップ部の下縁部の脇側から、脇側縁部にかけて取り付けられて  
 いる、請求項1又は2に記載のカップ付き衣類。

【請求項4】

前記パネル部は、左右の脇側部分に伸縮性を有するパネル補助部を備える、請求項1～  
 3のいずれか一項に記載のカップ付き衣類。

【請求項5】

前記パネル部は、伸縮性を有するパネル中心部と、前記パネル中心部を介して連結され  
 る左右一対のパネル本体部と、を備える、請求項1～4のいずれか一項に記載のカップ付 20

き衣類。

【請求項 6】

前記パネル部の中心部の上縁部は、前記土台部の前中心部の上縁部よりも低い位置にある、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のカップ付き衣類。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、カップ付き衣類に関する。

【背景技術】

10

【0002】

バストを寄せ挙げて、谷間を形成するカップ付き衣類が種々提案されている（例えば、特許文献 1）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2009 - 52174 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

20

しかしながら、バストを寄せ上げることを目的とした従来のカップ付き衣類では、着用時にカップ部の下部がバストから浮いてしまったり、寄せたバストを一定の位置に保つことが困難な場合があった。

【0005】

そこで、本発明は、バストを寄せ上げ、カップ部の下部の浮きを抑制すると共に、寄せたバストを一定の位置に保つことが可能なカップ付き衣類を提供することを主目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

すなわち、本発明は、左右一対のカップ部と、前記カップ部の下部に取り付けられた土台部と、前記カップ部の肌接触面側に、前記カップ部を左右方向に跨いで配置されたパネル部と、を備え、前記土台部の前中央部の下縁部は、前方向に張り出した湾曲部を形成している、カップ付き衣類を提供する。

30

【0007】

なお、本発明において、前とは着用者の正面方向を意味し、後とは着用者の背面方向を意味する。また、上下及び左右とは着用者から見た場合の上下方向及び左右方向を意味する。

【発明の効果】

【0008】

本発明によれば、バストを寄せ上げ、カップ部の下部の浮きを抑制すると共に、寄せたバストを一定の位置に保つことが可能なカップ付き衣類を提供することができる。

40

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図 1】本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 を示す正面図である。

【図 2】本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 のカップ部 2 付近を示す背面図である。

【図 3】本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 の土台部 3 を平面に置いた状態を示す図である。

【図 4】本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 を構成する左側の土台部 3 のバスト中心側部分を示す正面図である。

【発明を実施するための形態】

50

## 【 0 0 1 0 】

以下、本発明を実施するための形態について図面を参照しながら説明する。なお、以下に説明する実施形態は、本発明の実施形態の一例を示したものであり、これにより本発明の範囲が狭く解釈されることはない。

## 【 0 0 1 1 】

まず、図 1 を参照して、本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 について説明する。図 1 は、本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 を示す正面図である。

## 【 0 0 1 2 】

ブラジャー 1 は、左右一対のカップ部 2 , 2 を備える。カップ部 2 の下部には土台部 3 が取り付けられている。土台部 3 は、一枚の布から形成されてもよいが、図 1 に示すように、ブラジャー 1 の前中心線部分において連結される左側土台部 3 a 及び右側土台部 3 b から形成されることが好ましい。土台部 3 の前中央部の下縁部は、前方向に張り出した湾曲部 3 1 を形成している。湾曲部 3 1 を有することにより、着用時におけるカップ部 2 の下部の浮きを抑制すると共に、寄せたバストを一定の位置に保つことができる。湾曲部 3 1 の詳細については、後述する。

## 【 0 0 1 3 】

カップ部 2 と土台部 3 との境界にはワイヤー部 4 が設けられていることが好ましい。これにより、バストを寄せ上げつつ、装着時におけるカップ下部の浮きをより効果的に抑制することが可能である。

## 【 0 0 1 4 】

土台部 3 の両脇側には、バックベルト部 5 , 5 が取り付けられている。バックベルト部 5 は、伸縮性を有する布から形成されることが好ましい。バックベルト部 5 , 5 の各端部には、係止部 6 , 6 が設けられている。係止部 6 , 6 が係合することにより、バックベルト部 5 , 5 が連結される。係止部 6 , 6 としては、例えば、ホック（フック・アンド・アイ）を用いることができる。ブラジャー 1 を着用した際に、バックベルト部 5 , 5 の締め付け具合を調整可能とするため、図 1 に示すように係止位置が異なる複数の係止部 6 が設けられていてもよい。

## 【 0 0 1 5 】

ブラジャー 1 においては、カップ部 2 の上縁部からバックベルト部 5 にかけて、肩紐部 7 が取り付けられている。肩紐部 7 は、伸縮性を有する素材から形成されることが好ましい。肩紐部 7 の取り付け手段は特に限定されず、肩紐部 7 の一端がカップ部 2 の上縁部に縫着され、他端がバックベルト部 5 に縫着されてもよい。

## 【 0 0 1 6 】

また、図 1 に示すように、カップ部 2 の上縁部に環状部材 2 1 を取り付け、肩紐部 7 の一端側が環状部材 2 1 を通って調節部材 7 1 に巻回されており、他端がバックベルト部 5 に縫着された構成を採用してもよい。これにより、調節部材 7 1 を介して肩紐部 7 の長さを適宜調節することが可能となる。

## 【 0 0 1 7 】

また、バックベルト部 5 は、肩紐部 7 との間にバック装飾部 5 1 を備えてもよい。図 1 に示すように、略三角形形状のバック装飾部 5 1 の底辺部分がバックベルト部 5 に縫着され、肩紐部 7 の一端がバック装飾部 5 1 の頂点に縫着された構成を採用してもよい。

## 【 0 0 1 8 】

次に、図 2 を参照して、本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 について更に説明する。図 2 は、本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 のカップ部 2 付近を示す背面図である。

## 【 0 0 1 9 】

ブラジャー 1 は、カップ部 2 の肌接触面側に、カップ部 2 を左右方向に跨いで配置されたパネル部 8 を備える。パネル部 8 の形状は、左右略対称である。パネル部 8 の上縁部は、下に凸の略弓形状をなしており、下縁部は略水平状をなしている。このような形状をなすことにより、パネル部 8 は、左右の両端側から中心部にかけて縦幅が狭くなっている。

パネル部 8 の上縁部及び下縁部以外の部分は、カップ部 2 に取り付けられている。

【 0 0 2 0 】

パネル部 8 は、カップ部 2 の下縁部の脇側から、脇側縁部にかけて取り付けられている。図 2 に示すブラジャー 1 においては、カップ部 2 の下縁部とは、バージスラインに対応する部分をいい、カップ部 2 の下縁部の脇側とは、バージスラインの最下点近傍から脇側末端までの部分をいう。また、カップ部 2 の脇側縁部とは、バージスラインの脇側末端から肩紐部 7 の取り付け位置までの部分をいう。

【 0 0 2 1 】

パネル部 8 は、バストを下から持ち上げる効果を奏する。そのため、本実施形態に係るブラジャー 1 を着用することにより、バストを寄せ上げた状態を維持することが可能である。

10

【 0 0 2 2 】

パネル部 8 は、左右の脇側部分に伸縮性を有するパネル補助部 8 1 を備えることが好ましい。パネル補助部 8 1 の素材としては、伸縮性の高さや肌触りの観点から、パワーネットが好適である。

【 0 0 2 3 】

バストは身体の動作に合わせて様々な方向に揺れ動くが、バストの揺れに合わせてパネル補助部 8 1 が伸縮することにより、バストに対するパネル部 8 のフィット感がより向上する。したがって、パネル補助部 8 1 を備えることにより、体を動かした場合であってもバストを寄せ上げた状態をより効果的に維持することが可能である。

20

【 0 0 2 4 】

更に、パネル部 8 は、伸縮性を有するパネル中心部 8 2 と、パネル中心部 8 2 を介して連結される左右一対のパネル本体部 8 3 , 8 3 を備えることが好ましい。パネル中心部 8 2 は、好適には左右方向に伸縮する。また、バストの寄せ上げ効果を維持しつつ、パネル部 8 に適度な伸縮性を持たせる観点から、パネル中心部 8 2 は、伸びの少ないゴムから形成されることが好ましい。パネル中心部 8 2 が、バストサイズの個人差を吸収する働きに寄与するため、着用時の圧迫感がより軽減され、着け心地がより向上する。

【 0 0 2 5 】

また、パネル部 8 の中心部の上縁部 8 4 は、土台部 3 の前中心部の上縁部 3 2 よりも低い位置にあることが好ましい。このような構成とすることにより、パネル部 8 がバストを下から持ち上げる力が高まってバスト寄せ上げ効果が向上し、且つ、カップ部の下部の浮きをより効果的に抑制することが可能である。

30

【 0 0 2 6 】

本実施形態に係るブラジャー 1 は、カップ部 2 の肌接触面側に、パッド部 9 と、パッド部 9 を収納するパッド収納部 1 0 を備えていてもよい。パッド部 9 を備えることにより、バストアップ効果をより高めることが可能である。パッド収納部 1 0 は、開口部 1 0 1 を備えており、開口部 1 0 1 を介してパッド部 9 を出し入れすることができる。

【 0 0 2 7 】

次に、図 3 を参照して、土台部 3 の前中央部の下縁部が前方向に張り出して形成された湾曲部 3 1 について説明する。図 3 は、本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 の土台部 3 を平面に置いた状態を示す図である。

40

【 0 0 2 8 】

湾曲部 3 1 は、土台部 3 を平面に置いた状態で、土台部 3 に対して 1 . 0 c m 以上張り出していることが好ましい。より詳細には、土台部 3 を平面に置いた状態で、左右の土台部 3 , 3 を通る仮想水平面 H に対して、湾曲部 3 1 の中央部分から鉛直方向に下ろした線の長さ A が 1 . 0 c m 以上張り出していることが好ましく、より好ましくは、 1 . 5 c m 以上である。このような構成とすることにより、着用時におけるカップ部 2 の下部の浮きをより効果的に抑制すると共に、寄せたバストの位置をより安定的に維持することが可能である。

【 0 0 2 9 】

50

次に、図 4 を参照して、土台部 3 について説明する。図 4 は、本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 を構成する左側土台部 3 a のバスト中心側部分を示す正面図である。

【 0 0 3 0 】

図 4 において、実線は、本実施形態に係るブラジャー 1 の左側土台部 3 a のバスト中心側部分を示しており、破線は、従来の一般的なブラジャーの土台部における対応する部分を示す。仮想線 S は、本実施形態に係るブラジャー 1 の左側土台部 3 a の前中心線 3 3 の上側末端部 p を通る仮想線である。仮想線 T は、上記前中心線 3 3 の下側末端部 q を通る仮想線であり、仮想線 S と仮想線 T は直交している。図 4 中の仮想線 B は、バージスラインの最下点 b を通る仮想線であり、仮想線 T と直交している。長さ L は、一般的なブラジャーに係る土台部の前中心線 N の下側末端部 r から仮想線 S までの距離を示している。また、長さ M は、左側土台部 3 a の前中心線 3 3 の下側末端部 q から仮想線 S までの距離を示している。

10

【 0 0 3 1 】

本実施形態に係るブラジャー 1 において、湾曲部 3 1 を形成するためには、図 4 に示す長さ M を、従来の一般的なブラジャーと比較して長くすることが好ましい。つまり、長さ M を長さ L に比べて長くすることが好ましく、より詳細には、長さ M は、長さ L の 2 . 0 ~ 2 . 5 倍であることが好ましく、2 . 3 ~ 2 . 5 倍であることがより好ましい。

【 0 0 3 2 】

また、湾曲部 3 1 を形成するためには、図 4 に示す左側土台部 3 a の前中心線 3 3 を、従来の一般的なブラジャーと比較して下方向に長くすることが好ましい。つまり、前中心線 3 3 の長さを一般的なブラジャーの土台部の前中心線 N の長さよりも下方向に長くすることが好ましく、より詳細には、前中心線 3 3 の長さは、従来の前中心線 N の長さの 1 . 1 ~ 1 . 5 倍であることが好ましく、1 . 1 ~ 1 . 3 倍であることがより好ましい。

20

【 0 0 3 3 】

図 4 においては、左側土台部 3 a を例に説明したが、右側土台部 3 b についても同様である。

【 0 0 3 4 】

上記長さ M や、土台部 3 の前中心線 3 3 の長さを上述のように調節することにより、湾曲部 3 1 が土台部 3 に対して 1 . 0 c m 以上張り出した形状とすることができ、着用時におけるカップ部 2 の下部の浮きを抑える効果が向上する。

30

【 0 0 3 5 】

以上、本発明の実施形態の具体例としてブラジャーを挙げて説明したが、本発明に係るカップ付き衣類はブラジャーに限定されない。例えば、本発明は、カップ付きキャミソール、カップ付きタンクトップ、カップ付きベアトップ、水着などの各種のカップ付き衣類に適用可能である。また、前中心を係脱可能に連結したフロントホックタイプのカップ付き衣類にも適用可能である。

【実施例】

【 0 0 3 6 】

図 1 に示す本発明の一実施形態に係るブラジャー 1 を実施例 1 のブラジャーとして作成した。また、比較例 1 として、湾曲部を有しない以外は、実施例 1 のブラジャーと同様のブラジャーを作成した。実施例 1 及び比較例 1 のブラジャーをそれぞれ着用して、身体を動かした場合におけるカップ部下部の浮きを調査した。

40

その結果、実施例 1 のブラジャーの方が、比較例 1 のブラジャーよりも、明らかに、カップ部の下部の浮きが抑制されると共に寄せたバストの位置が一定に保たれていた。このように、本発明に係るカップ付き衣類は、湾曲部を備えることにより、カップ部の下部の浮きが抑えられることが確認された。

【符号の説明】

【 0 0 3 7 】

- 1 ブラジャー
- 2 カップ部

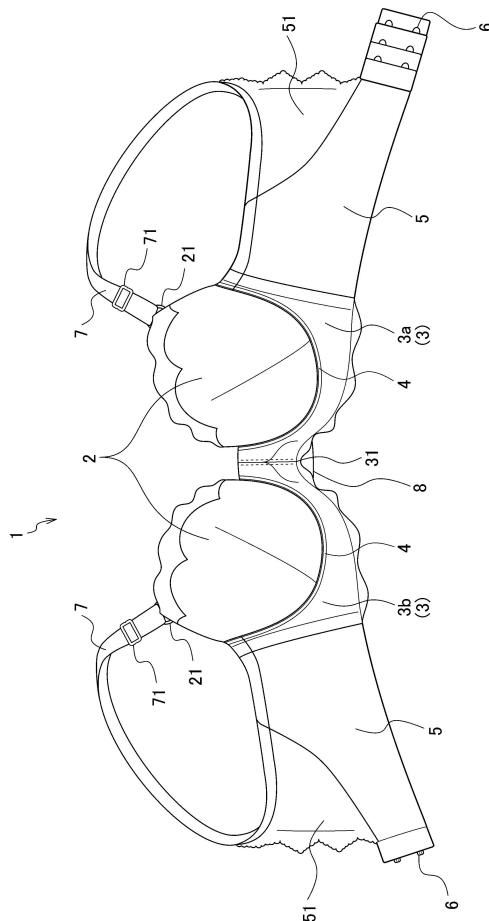
50

- 3 土台部
- 3 a 左側土台部
- 3 b 右側土台部
- 4 ワイヤー部
- 5 バックベルト部
- 6 係止部
- 7 肩紐部
- 8 パネル部
- 9 パッド部
- 10 パッド収納部
- 21 環状部材
- 31 湾曲部
- 32 土台部の前中心部の上縁部
- 33 左側土台部 3 a の前中心線
- 51 バック装飾部
- 71 調節部材
- 81 パネル補助部
- 82 パネル中心部
- 83 パネル本体部
- 84 パネル部の中心部の上縁部
- 101 開口部

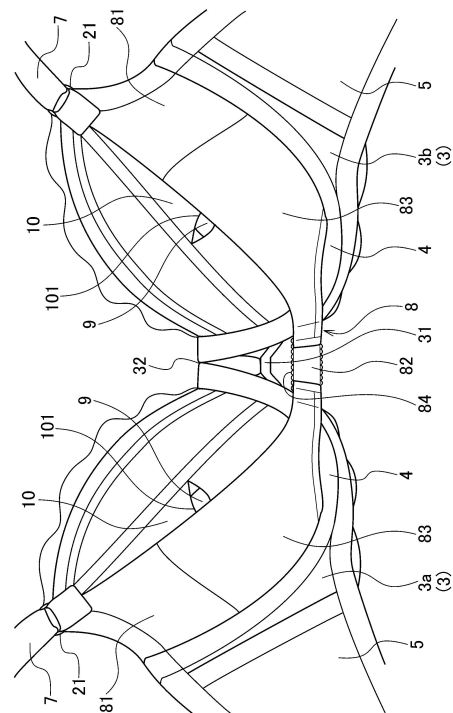
10

20

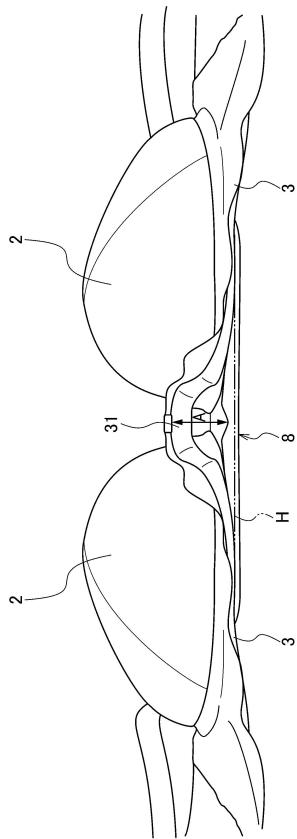
【図 1】



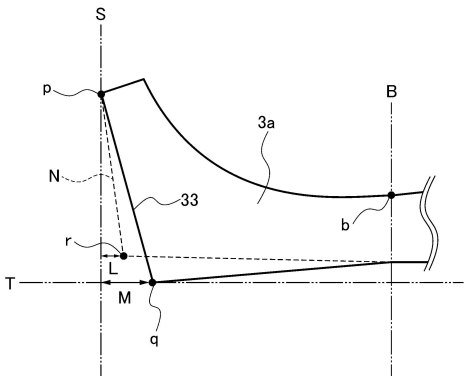
【図 2】



【図 3】



【図 4】



---

フロントページの続き

審査官 山下 浩平

(56)参考文献 特開 2 0 0 3 - 4 1 4 0 5 ( J P , A )  
登録実用新案第 3 1 4 5 2 7 3 ( J P , U )  
特開 2 0 1 1 - 1 2 3 6 8 ( J P , A )

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)  
A 4 1 C 1 / 0 0 - 5 / 0 0